

登録コード	E9122302	開講年度	2026			
授業科目	教育心理学特別演習 I C				担当教員	茅野 理恵
英文授業名	Advanced Seminar in Educational Psychology I				副担当	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンベンション 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観をもち、心理的支援を必要とする課題についての現状について説明することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・教育活動を支え、実現する上で不可欠な、心理的支援を必要とする課題の現状とそれらに関する専門的知識を修得し、それを自身の研究に活かすことができるようになる。 ・文献研究、研究計画、データ収集、分析等に関わる基礎的な技法を習得することができる。 ・研究経過をわかりやすく伝えることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	卒業論文の執筆に向け、各自がそれぞれのテーマを基に研究を進め、その成果をレポートする。また、それぞれの発表についてディスカッションを行う。全体を通して、担当教員が公立小中高等学校および教育専門機関における教育相談の実務経験を活かして演習指導を行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：卒業論文とは？ 第3回：テーマ設定 第4回：論文の構成 第5回：執筆計画 第6回：情報収集と整理（1）文献・資料の検索方法 第7回：情報収集と整理（2）文献の入手方法 第8回：情報整理と整理（3）文献リストの作成方法 第9回：興味のある領域の書籍を読む 第10回：執筆のルール（1）良い文の3原則 第11回：執筆のルール（2）わかりやすい文章にするために 第12回：執筆のルール（3）良い論文の3原則 第13回：プレゼンテーション（1）わかりやすいプレゼンとは 第14回：プレゼンテーション（2）わかりやすく伝えるスキル・授業アンケート レポート 全14回を通して常にボランティア活動の報告と振り返りを行い、活動内容の充実に向けてのディスカッションを行う。また、学校現場の要請に合わせ、適宜心理教育の実践準備と実践を行っていく。					
(6)成績評価の方法	1）以下を総合して判定する。 ・課題に応じた情報収集を行い、これらの情報を基に問題解決に向けた検討ができたかを確認する「授業準備」：30% ・分かりやすく情報を伝えることができたかを確認する「授業でのプレゼンテーション」：40% ・授業への主体的・積極的な関与を確認する「授業への貢献度」：30% ＊評価割合は若干の調整を行うことがある。 2）得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	①レジュメの作成等の授業準備 ②授業でのプレゼンテーションにおいてわかりやすく情報を伝えることができたか ③ディスカッションにおいて主体的・積極的に関与したか ④自らの問題意識に基づいて課題を検討することができたか ⑤他者の意見を取り入れながら、次への方向性を検討することができたか 以上5つの観点について ①～⑤の5項目を満たし、且つ新たな視点を組み入れつつ検討することができていれば「卓越している」 ①～⑤のうちの5項目を満たしていれば「かなり上にある」 ①～⑤のうちの4項目を満たしていれば、「やや上にある」 ①～⑤のうちの3項目を満たしていれば、「その水準にある」					
(8)事前事後学習の内容	・授業は、受講者が行った課題の発表とそれに基づくディスカッションで展開する。授業にあたっては、前週に出された課題を行うと共に、発表用資料を準備しておくこと。 ・発表用資料には、以下の点を必ず記載すること。 1）研究テーマ 2）研究目的 3）本日の発表内容（調べてきた内容） 4）考察（調べてきた内容に対するコメント） 5）次回へ向けての課題 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					

(9)履修上の注意	・授業は、受講者が行った課題の発表とそれに基づくディスカッションで展開する。 ・ディスカッションへの積極的な参加を期待する。 ・欠席にあたっては、事前に連絡をすること。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	茅野（理）研究室(E403) Tel：026:238-4207 e-mail：chinori@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	特に指定はしません
【参考文献】	学校で気になる子どものサイン 増補改訂版 少年写真新聞社 先生に知って欲しい家庭のサイン 少年写真新聞社